

BELIEVE

2023
秋号
VOL.86

特集 遺伝診療部門が発足しました!



「アヴォンリー遠望(秋)」 秦 美紀子(エイブルアート・カンパニー所属 <https://www.ableartcom.jp>)

■ シリーズ 情熱の白衣 医師の素顔 ⑧ 小児科部長 藤野 寿典 ■ 看護師レポート

- 食だより／秋一旬を味わう「さばといろいろきのこの揚げびたし」
- お薬ミニ知識／あなたはお薬をいくつ飲んでますか?
- 緩和ケアチームからのお知らせ
- かかりつけ医をもちましょう
- 第13回「親と子の防災体験セミナー 災育」を開催
- Topics Box ニュース&イベント

大阪赤十字病院の理念

わたしたちは
人道・博愛の赤十字精神に基づき
すべての人の尊厳をまもり
心のかよう高度の医療をめざします

患者さんの権利

1. 一人の人間として、人権をまもられる権利があります
2. 良質かつ適切な医療を、公平に受ける権利があります
3. 医療についての情報や治療上の説明を受ける権利があります
4. 自分自身の治療について、医療行為を選択する権利があります
5. プライバシーがまもられ、個人情報保護される権利があります
6. 自己の診療録等の医療情報の開示を求める権利があります
7. 他施設の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります



遺 伝 診 療 部 門

が 発 足 し ま した ！

令和5年5月、当院に「遺伝診療部門」が設立されました。今号では、病気と遺伝の説明から当部門の活動まで、さまざまな内容を紹介いたします。ぜひご一読ください。

▼ 遺伝診療部門スタッフ



● はじめに

近年の医療の発展は目覚ましく、人が個々に持っている遺伝子を個別に解析し、その人に合った治療薬を探す各種検査が行われています。今回、紹介する「遺伝診療部門」は、治療薬などを探するために日常診療で行われている遺伝学的検査（血縁者に引き継がれる可能性のある遺伝子の変異を調べる検査）の結果を、患者さんとその血縁者の方々の病気の予防や健康管理に役立ててもらうために設立されました。当院の「遺伝診療部門」の活動を知っていただき、患者さんやその血縁者の「遺伝診療」に対する理解の一助になれば幸いです。

● 病気と遺伝って？

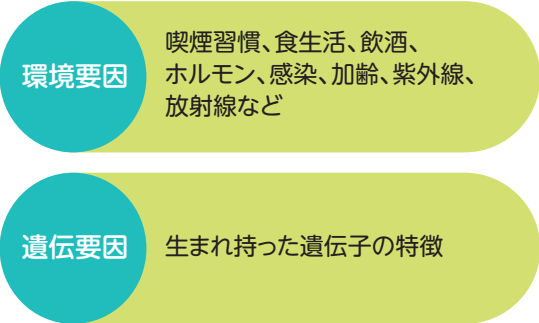
遺伝子は、体の特徴や機能を決めるもので、人はほとんどの遺伝子を2つ1組で持つっており、父親と母親から1つずつ受け継いでいます。その遺伝子の変化によって引き起こされる病気を、遺伝性疾患といいます。遺伝性疾患には、ダウン症候群に代表される染色体異常症や、鎌状赤血球症のように1つの遺伝子の変異によって起こる単一遺伝子疾患、複数の遺伝要因と環境要因の組み合わせによって起こる多因子遺伝疾患があります。近年、先天性疾患や指定難病に対する遺伝学的検査とサーベイランス（遺伝性疾患の早期発見のために、継続して定期的に行う検査）の必要性が高まっています。

● がん と 遺 伝 ？

日本では2人に1人が生涯に一度はがんを経験するといわれています。がんの原因には、図1のように、加齢や生活習慣、ウイルスなどによって遺伝子が増える環境要因と、一人ひとりが生まれつき持っている遺伝的特徴がかわる遺伝要因が影響しています。遺伝子のなかには、がんの

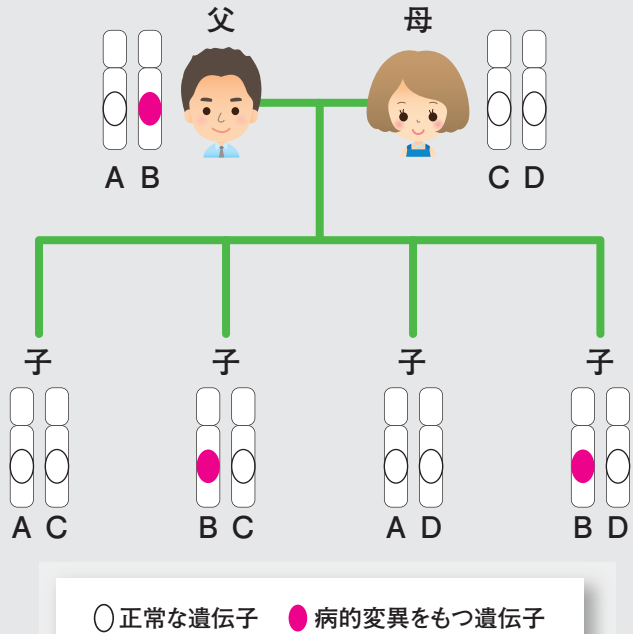
発症にかかわる遺伝子もあります。例えば、『BRCA1』や『BRCA2』という遺伝子は、乳がんや卵巣がんなどの発症を抑制する働きを持っています。これらの遺伝子に生まれながらに変化（「病的バリエーション」といいます）があると、乳がんや卵巣がんなどを発症しやすくなります。このように、生まれつき特定のがんになりやすい体質と関連のある遺伝子の変化を持ち、発症する腫瘍を、「遺伝性腫瘍」といいます。図2が

図1 がんの原因について



示すように、どちらかの親が、遺伝性腫瘍の原因となる遺伝子の特徴を持つている場合、それが子どもに受け継がれる確率は、2分の1（50%）となります。性別によつて確率が変わることはありません（ただし、

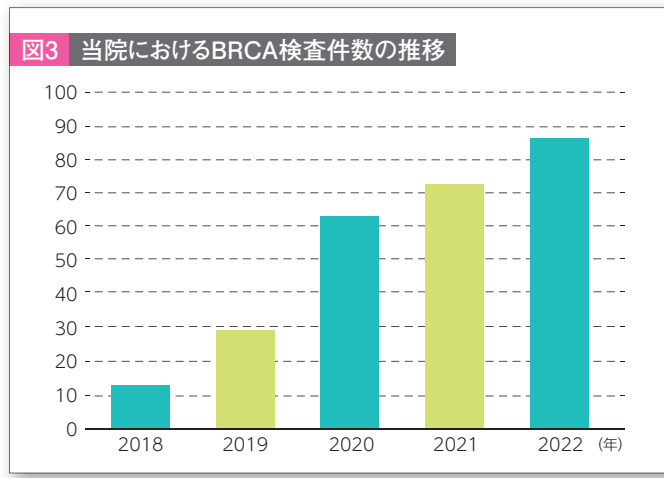
図2 遺伝子が親から子に受け継がれる組み合わせの一例



遺伝子によっては、別の遺伝形式をとるものもあります。最近のがん治療において、保険診療によるコンパニオン診断（※1）としてのがん遺伝子検査やがんゲノムパネル検査（※2）などによって、多くのがんに対して個別化治療が可能になってきています。それらの検査のなかには、遺伝性腫瘍に関連した遺伝学的検査（乳がんや卵巣がんなどの発症に関連する『BRCA1/2』遺伝学的検査）や、大腸がんや子宮内膜がん、卵巣がんなどの発症に関連がある『MSI検査』などが含まれています。これらの遺伝学的検査が普及する

※1: ある特定の治療薬が患者さんに効果があるかどうか、治療の前に検査をすること。
 ※2: がんの発生にかかわる多数の「がん関連遺伝子」のなかから、がん治療薬に結びつく遺伝子の変化を調べる検査。

ことにより、病的バリエーションを持つことが判明した本人とその血縁者や、がんゲノム検査により二次的所見（遺伝性腫瘍に関連した遺伝子の変化）疑いの症例が増えています。例えば、当院での『BRCA1/2遺伝学的検査』では、図3で示すように検査件数が年々増加しています。病的バリエーションを持つ患者さんの健康管理やその血縁者への周知と健康管理が重要となっております。



「遺伝診療部門」って何をやるの？

前述のように、遺伝要因によって発症する遺伝性疾患に関する遺伝学的検査やサーベイランスの重要性が、より一層高まっています。

遺伝学的検査は、患者さんの治療方針だけでなく、まだ病気を発症していない血縁者の方の健康管理にもかかわってきます。遺伝学的検査の結果やその説明、対象となる健康管理を、診療科の垣根

を越えて管理する部門として、「遺伝診療部門」が令和5年5月に発足しました。

対象となる病気と、対象となる方は？

1 遺伝性腫瘍

- 遺伝性乳がん卵巣がん症候群 (BRCA1/2遺伝子陽性)
- リンチ症候群 (MS検査陽性)

※多くの遺伝性腫瘍がありますが、当院では頻度の高い右記の疾患を対象にします。今後、対象を広げる予定です。

① 保険診療で実施した遺伝学的検査で病的バリエーションを認められた患者さん

② 遺伝学的検査で病的バリエーションを認められた患者さんの血縁者

③ がんゲノムパネル検査で二次的所見が判明した患者さんとその血縁者

2 小児科・内科系遺伝性疾患の患者さんとその血縁者

- (例) ■ Dravet症候群
- シトリン欠損症
 - X連鎖性魚鱗癬症候群
 - Prader-Willi症候群
 - brain-lung-thyroid disease
 - Potocki-Lupski症候群
 - ファブリー病
 - アルポート症候群 など

遺伝診療部門の具体的な活動は？

図4に当院における遺伝診療の一般的な流れを示します。臨床遺伝専門医（新生児・未熟児科／小児科医）1名、

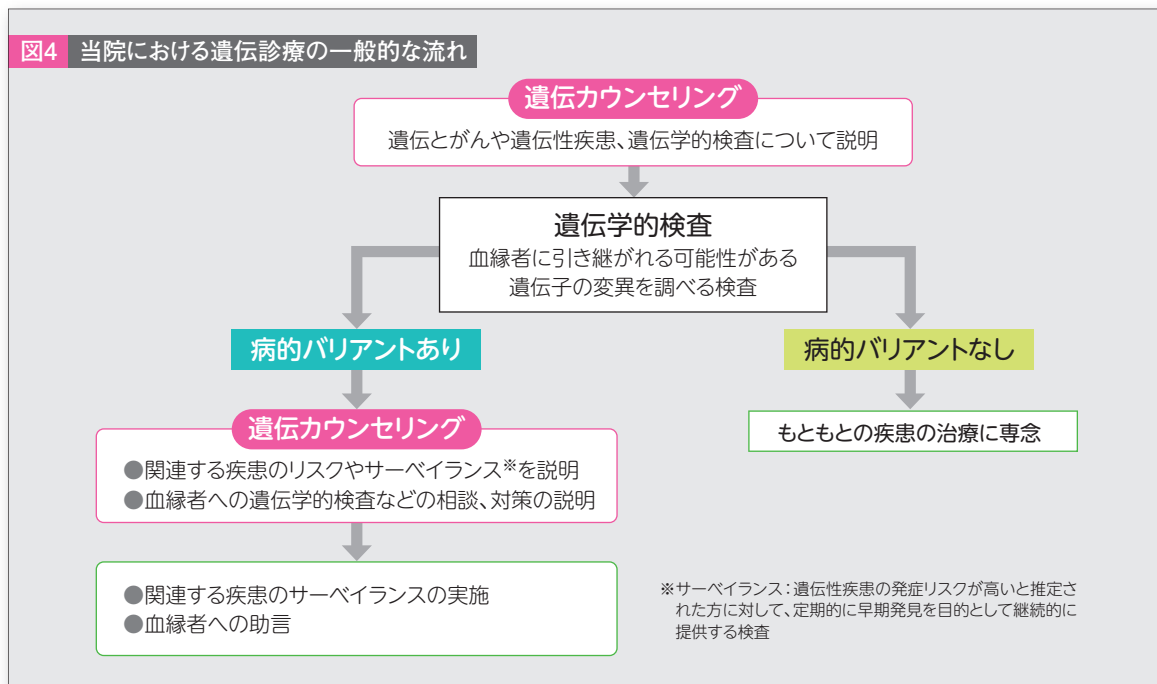
乳腺外科医2名、産婦人科医2名、消化器内科医1名、泌尿器科医1名、認定遺伝カウンセラー2名が、次の内容について対応しています。

① 遺伝学的検査を実施するかを悩んでいる方には遺伝カウンセリングを実施し、遺伝とがんや遺伝性疾患、遺伝学的検査の内容などの理解を深めてもらい、意思決定を支援します。



▶ 遺伝カウンセリングの様子

▼ カンファレンスの様子



② 病的バリエーションを持つ患者さんや、遺伝性疾患や遺伝性腫瘍について情報提供し、サーベイランスや予防切除などの説明を行います。また、その血縁者に対しては、自費診療にて遺伝カウンセリングや、遺伝学的検査、サーベイランスを行います。

③ カンファレンスを定期的に開催して、遺伝学的検査を実施した対象者について、遺伝学的検査の結果開示やサーベイランス方法、スケジュールなどについて、検討します。

遺伝と病気について、不安や心配事があれば、まずは主治医や看護師に相談してください。

笑顔に励まされながら、子どもたちの成長を見つめる。

小児科部長 藤野 寿典

研究者として世界と競うより、小児科医としての醍醐味を。

「もともと自分が無口だから、相手のおしゃべりを聞く方が好き」と話す藤野医師。患者や保護者に対して、「とにかく話を聞くことがすべての始まり」という現在の業務には、まさにうってつけの性格だといえる。しかし、当院に来るまでは、臨床医としてのやりがいと、研究への興味との間で揺れ動いていたという。

きっかけは、市民病院に勤めていた若手時代、重病の患者さんを他大病院に任せる体験を繰り返したこと。「もともと自分で詳しく診られたら、という想いがついつい。大学院生として母校に戻り、白血病



などのいわゆる「血液のがん」を研究することに。その分野で最先端を行く、アメリカの小児病院への留学も果たした。「そこで、世界トップレベルの研究を肌で感じるとともに、自分にふさわしいのは臨床の場だ、と腹をくくることができました」。帰国後、すぐに当院へ入職して十数年。「初めて会ったときは幼児だった患者が、もう中学生に」と無事に成長していく様子を見守りながら、「これこそ、小児科医冥利につきます」と頬をゆるませる。「子どもって、凄いですよ。ごまかしが通じなくて正直だから、相手が本気で自分のことを考えているか、敏感に察して反応するんです。たとえ嫌な処置をされても、自分のためにやってくれている」という医師や看護師の想いが伝われば、だんだん泣きわめくのをやめて、一生懸命こらえてくれる。「小さな身体で、大人も根を上げるような治療や孤独に向き合う姿を見ていると、本当に愛しくて、なんとか元気にして



数字好きな理系気質を活かし、ウェアラブル端末を腕に、毎日の歩数チェック。



あげたいという気持ちでいっぱいになります。すべての大人が、子どもを愛する社会を願って。自然にあふれてくる愛情と熱意で、一人ひとりの子どもや保護者との信頼関係を紡ぐ藤野医師。科の診療方針としても、本人の意思を何より大切にしているという。「大人の患者なら当たり前前のことでも、立場が弱い子どもの場合はとても難しい。そのなかでも、自分はどうしたいのか」といった気持ちを、どんなに幼い子にもしっかりと聞くようにしています。今、病气やけがと闘っている子どもたちも、やがて成長して小児科医の元を離れ、外の世界へ出ることになる。そのとき、どのような社会が、彼らを受け止めてくれるのか。「私たち小児科医チームも全力でがんばります。なので、直接つながりのない皆さんも、子どもを愛しむ心を忘れないでほしい」。ようやく退院を迎え、はちきれそうなみんなの笑顔が、成長してからもずっと輝くことを願って。藤野医師が見つめる子どもたちの明日は、私たちの未来そのものだ。

福岡県出身。平成9年に京都大学医学部卒業。同大学医学部附属病院での勤務を経て、平成10年より大和高田市立病院に入職。平成18年京都大学大学院医学研究科博士課程修了。以後、市立岸和田市民病院、京都大学医学部附属病院、米国のシンシナティ小児病院を経て、平成23年より大阪赤十字病院に勤務。令和4年4月より現職。

看護師レポート 86 MIEKO TAN

兵庫県生まれ。平成8年に大阪赤十字看護専門学校を卒業し、大阪赤十字病院に入職。外科病棟、耳鼻科、眼科外来、呼吸器科、消化器内科、血液内科などを経て、令和2年に看護係長へ。令和3年より小児科病棟兼外来を担当。



看護係長 丹 三恵子

一人ひとりに寄り添いながら、真剣に「楽しい看護」をめざしたい。

「叱られて反省しても、立ち直りが早い」。「相手の身の上話や人生観が、自分ごとのように興味深い」。看護師としての適性はさておき、こんな私の性格が、仕事を楽しく続ける支えとなっています。「病气やけがで苦しむ人がいる病院で、楽しいなんて不謹慎じゃないか」というご意見もあるかと思えます。けれど、自分が朗らかな気持ちでいると、周りにいる人の気分も明るくなり、楽しい雰囲気生まれるのを実感します。もしも、相手が来院しなければ、自分が看護師になっていなければ、ありえなかった出会い、語り。たとえ束の間でも、そんなご縁の一つひとつを、人生の宝物だと感じていたい。若手の頃、「整理整頓が好き」という入院患者さんから、「あなたはいつもきれいにしてくれる」と感謝されたことが、今でもうれしく思い出されます。

終末期などの現場では、患者さんと親身になるほど、お別れするのを辛く感じます。けれど、さまざまな方が来られる地域の病院だからこそ、お一人おひとりの事情や心情に寄り添う看護をめざしたい。「楽しい看護」とは、私の上司

だった方が、よく口にされていた言葉です。自分が役職についた今、いろんなことを受け止める「強さ」があるからこそ、「楽しい」と言い切れるのだと、深く実感しています。まだまだ先達には遠く及ばない、至らない私ですが、幸いにも立派な上司や後輩に恵まれているので、皆さんに助けていただきながら、子どもたちが楽しく過ごせる小児科をめざしていきます。



帰宅してすぐスイーツを頬張るのが、至福のひととき。

★新型コロナウイルス感染症対策により、マスク着用での取材とさせていただきます。



食だより

栄養管理課 管理栄養士 光田千穂

秋

旬を味わう

「さばといろいろきのこの揚げびたし」

秋はさんま、さば、いわし、さけなどの多くの魚が旬を迎えます。魚の油には不飽和脂肪酸である「DHA（ドコサヘキサエン酸）」や「EPA（エイコサペンタエン酸）」が豊富に含まれています。これらには、血液中のコレステロールや中性脂肪を減らす働きがあり、肥満や動脈硬化などの生活習慣病の予防や認知機能低下の抑制などに効果があるとされています。DHAやEPAは、体内では生成することのできない必須脂肪酸であるため、日々の食事から積極的に摂取することが大切です。



近年、「臭いが気になる」「調理が難しい」「ボリュームが少なく」といった理由から、魚離れが急速に進んでいます。魚離れが少しの工夫で簡単においしく楽しむことができます。日頃つい肉類ばかりになってしまおうという方も、魚がおいしく味わえるこの季節に魚料理を楽しんでみましょう。

魚料理をおいしく楽しむために

- 塩味、酸味、香りを取り入れる…塩で下味をつける、煮魚に梅干しを加える、香味野菜や柑橘類の果汁を加えるなどの方法は、旨味を強めたり、臭みを取り除く効果があります。
- 切り身や缶詰を使用する…骨や内臓などの下処理がなく手軽に使用できます。缶詰はそのまま食べるだけでなく、和え物やパスタの具材にするなどの活用法もおすすめです。
- 野菜や他の食材を組み合わせる…野菜や他の魚介類などと炒める、煮るなど具沢山にすることで、一品でもボリュームを出すことができます。

〈材料〉(2人分)

- さば……………2切れ
- 塩……………適量
- 片栗粉……………適量
- 揚げ油……………適量
- しめじ……………40g
- えのき……………30g
- しいたけ……………2枚
- ねぎ……………適量

【調味液】

- だし汁……………150cc
- しょうゆ……………大さじ2
- みりん……………大さじ1
- 酒……………大さじ1
- 酢……………大さじ1
- 鷹の爪……………1~2本

〈作り方〉

- ①さばに塩をふり、数分置いてから水洗いする。
- ②フライパンに調味液の材料をすべて入れ、煮立ったらきのこを加え火が通るまで煮る。
- ③さばに片栗粉をまぶし、170℃の油で揚げる。
- ④②の調味液に③を漬ける。味がしみ込んだら器に盛り付け、刻みねぎを散らす。

■栄養成分(1人分)

エネルギー	255kcal
たんぱく質	17.9g
脂質	15.0g
炭水化物	13.8g
食塩相当量	1.6g



お薬ニ知識



薬剤部 薬事衛生課 坂本 千明

あなたはお薬をいくつ飲んでいますか？

高齢になると、複数の病気にかかり、受診する医療機関も複数になるため、お薬の数が増える傾向にあります。お薬の数が増えると、飲み間違いや飲み忘れが生じたり、副作用を引き起こしたりする場合があります。このような状態のことを「ポリファーマシー」といいます。重要なのは「単に服用するお薬の数が多いいこと」ではなく、「それによって有害な影響が出ている」ということです。

■ポリファーマシー？ 必要なお薬？

患者さんご自身で、ポリファーマシーなのか、減らすことができないお薬なのかを見極めるのは困難です。一方で、ポリファーマシーを発見するには患者さんの協力が不可欠です。医師・薬剤師に相談される際は、次の4点にご協力ください。

1 お薬手帳を持ちましょう

お薬の全体像を把握するため、お薬手帳は1冊にまとめてください。市販薬を購入する際もお薬手帳を携帯してください。

2 かかりつけの医師・薬剤師を持ち、お薬の情報をお互いに共有してください。

かかりつけの医師・薬剤師を持ち、お薬の情報をお互いに共有してください。

3 お薬は医師の指示どおりに飲みましょう

お薬カレンダー、ケース、一包化(※)包装を利用し、飲み間違いを防ぎましょう。

※一包化とは、内服のタイミングが同じ複数のお薬を1袋にまとめることです。

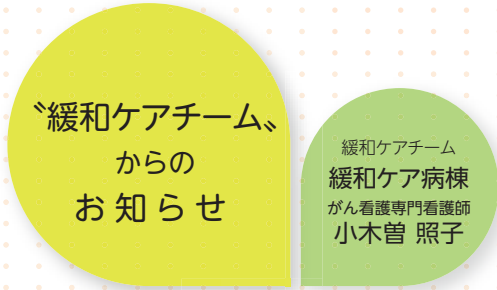
4 お薬の服用中に異変を感じたら

いつ頃から、どのような症状が出てきたのか、気になる症状についてメモし、すぐに医師・薬剤師にご相談ください。



お薬手帳は1冊にまとめてください

最後に、お薬が多いからといって、必ず減らすべきという訳ではありません。例えば、心臓や腎臓の病気では、処方されるお薬が多くなる場合があります。また、お薬のなかには症状の悪化を防ぎ、お薬自体が臓器の代わりに果たすような命にかかわる大切な役割があるものもあり、急に中止すると、症状が悪化したり、副作用が出たりすることもあります。「このお薬はなんで飲んでるんだっけ?」「お薬が多すぎて飲むのが大変だ」、そのようなときは自己判断で中止せず、気軽に医師や薬剤師にご相談ください。



緩和ケアチームからのお知らせ

緩和ケアチーム
緩和ケア病棟
がん看護専門看護師
小本 照子

vol.57
がん全般に関する
さまざまなご相談を
お受けしています。

がん相談支援センター

本館2階1番窓口

TEL:06(6774)5152 FAX:06(6774)5126
syakaika@osaka-med.jrc.or.jp

緩和ケア病棟の再開から1年が経ちました

新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)の感染拡大に伴い、コロナ感染者の受け入れや医療を行うために一時的に緩和ケア病棟を閉鎖していましたが、令和4年7月から緩和ケア病棟の運用を再開し、1年が経ちました。



緩和ケア病棟のパンフレット「がん相談支援センター」まで

ところで、緩和ケア病棟というと、どのようなイメージをお持ちでしょうか。当院の緩和ケア病棟では、「患者さん一人ひとりの思いを尊重し、患者さんが『その人らしく』穏やかな毎日を過ごしていただけるように支援すること」を理念に掲げています。『その人らしく』とは、言い換えるならば、『患者さんの大切にしている価値観』です。一方で価値観は千差万別であるため、私たち

緩和ケア病棟に携わる医療者は、常に患者さんやご家族と対話を重ね、「その人らしく在る」ことを最優先に考え、ケアにあたっています。

緩和ケア病棟に入院していたある患者さん(Aさん)とのかかわりについてお話しします。Aさんはがんによる痛みと倦怠感があり、緩和ケア病棟に入院されました。腹部に持続的な痛みがあり、夜間も眠れませんでした。しだいに苛立ちが強くなり、家族に感情をぶつけてしまい、そのような自分を情けなく感じていました。鎮痛薬を投与することで腹痛は徐々に緩和しましたが、Aさんは「みんなに迷惑をかけてしまつて」と、苦悩を語られました。医療スタッフは、Aさんとの対話を通し、Aさんは元々穏やかな性格であったこと、体力が低下し趣味の山登りを諦めざるを得ないことへのつらさを感じていること、などを理解することができました。

そこで、鎮痛薬に加え、浴槽での入浴を援助し、心身のリラクセスを図りました。また、理学療法士によるリハビリを行い、山登りがしたいという希望を支えることができ、Aさんは少しずつ「自分らしさ」を取り戻すことができました。

今後も、「その人らしく」を支えるために、よりよい緩和医療やケアを行っていきたく思います。

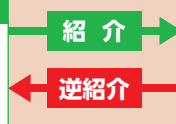
緩和ケア病棟の利用を検討されている方は、主治医もしくは看護師、当院2階「がん相談支援センター」にご相談ください。



かかりつけ医をもちましょう

病院と診療所がその機能や役割を分担しながら、患者さんに適切な医療を提供することが求められています。自分のことをよく知っていて、ちょっとした病気やケガの診察や相談ができる「かかりつけ医」をもちましょう。

かかりつけ医
日ごろの健康管理
専門的な治療が必要ななら当院へ紹介



大阪赤十字病院
高度医療・専門医療
症状が安定したら再び「かかりつけ医」へ

医療法人 有沢医院

- 院長/有澤 健司
- 診療科/内科
- 住所/大阪市生野区巽中2丁目4-19
- 電話/06-6758-1154
- 往診/有(要相談)
- 訪問診察/有(要相談)
- 診療時間



有沢院長



▲医院入口

外来	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	○	○	○	△	○	○
午後 16:30~19:00	○	○	○	△	○	○

■休診日/木曜、日曜、祝日

特長 当院は昭和55年に先代が外科・内科の診療所として開院しました。平成15年に引き継いでからは内科のみへと変更し現在に至っています。高血圧症・糖尿病・脂質異常症といった生活習慣病や消化器系疾患などを中心に内科全般の診療を行い、それぞれの方の生活背景なども考慮して治療にあたるよう心がけています。

地域の皆さまへ 何科に診てもらえばよいかかわからず受診される方も多く、その際は当院で可能な検査を実施するなど、できる限り対応するように心がけ、より専門的な診療や高度な検査が必要と判断した場合は、それに応じた医療機関へご紹介しています。地域のかかりつけ医として、さまざまなことを気軽に相談できる場所でありたいと思っています。

明石医院

- 院長/明石 夕香
- 診療科/内科、肝臓内科、消化器内科、小児科
- 住所/八尾市北本町2丁目12-23
- 電話/072-922-3193
- 診療時間



▲明石院長

外来	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	○	△	○	○	○	△
午後 17:30~19:00	○	△	○	△	○	△

△予約のみの肝臓外来

■休診日/火曜、土曜、日曜、祝日



▲院内掲示物

特長 父の代からのクリニックを継承して16年、今年で開設66年を迎えます。また、継承後より母校である地元小学校の校医を務めています。患者さんのなかには、最高齢90歳の方、4代に渡り通われている方もおられます。専門は消化器肝臓内科で、上下部消化管、特に肝臓指導医・超音波指導医として肝胆膵疾患の診療に力を入れており、関西医科大学消化器肝臓内科の非常勤講師として出務もしています。

地域の皆さまへ 小さなクリニックですが地域のかかりつけ医として、患者さんの信頼に応え、一人ひとりにきめ細やかな対応ができるよう、スタッフ一同がんばっています。地域医療への貢献として、八尾保健センターでの乳児健診、休日診療所の出務もしています。新型コロナワクチンを含め乳幼児から高齢者までの予防接種を行っています。子どもから大人まで、大阪赤十字病院など地域の基幹病院および関西医科大学など大学病院と連携して幅広く対応しています。

第13回「親と子の防災体験セミナー 災育」を開催

★4年ぶりに院内で対面形式で「災育」を開催しました

大阪赤十字病院の夏のイベント「災育」を、8月6日(日)に開催しました。「災育」とは防災の教育という意味で当院が作った造語です。

当院では、地域の防災力の向上を目的として、小学4年生から6年生とその保護者を対象に、平成22年から毎年8月第1日曜日に病院の一部を開放し、体験型の防災セミナーを開催しています。なぜ親子なのか。その理由は、現在の社会の担い手である世代と、20年後、30年後の社会の担い手である世代に学んでもらいたいからです。また、防災について新たな知識を得るとともに、家族で話し合うきっかけにしたいと思います。ためにも、親子での参加としています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、しばらく対面形式での開催を見合わせていたため、4年ぶりの開催となった今年の「災育」には、大阪市消防局、大阪府警察、陸上自衛隊、大阪市水道局、天王寺区役所などの防災機関や行政に加えて、大阪ガスネットワークやNHKといった災害時に活動する公共的な企業に参加いただきました。さらに、当院や赤十字関係施設からも傷メイクや応急処置、薬局体験、AED講習、手洗いチェック、無線体験、防災すごろく、模擬献血などのブースを展開しました。災育は当院が行うオープンイベントとしては最大のもので、今年は542名の地域の方々に参加いただき、



▲大阪市水道局による応急給水



▲大阪市消防局の消防士さんに消火器の使い方を教えてもらいました



▲陸上自衛隊の出動車輛前で決めポーズ!



▲すごろくで防災について学びました

当院職員や関係者を含めると、参加人数は合計900名近くになりました。

★「災害」と「自然現象」の違い

参加者のアンケートで毎回高い評価を受けている防災に関する講演に対しては、「災害への備えについて見直す機会となった」、「災害と自然現象の違いがよくわかった」などのコメントをいただきました。



▲講演の様子

「ここで皆さんにクイズです。『地震、台風、大雨などは災害でしょうか? 災害と自然現象の違いとは何でしょうか?』」

実は地震や台風は被害が出なければ、単なる「自然現象」です。しかし、地震や台風などにより家が被害を受けたり、人がけがをしたりすれば、その時点で「災害」になります。ということは、「自然現象」を「災害」にしたために、私たちにできることが何かありそうですね。それが「防災」です。しかし、南海トラフ巨大地震などの大きな地震が発生したら、必ず「災害」になります。自然現象のまま、誰も被害を受けないことは不可能です。そこで出てくるキーワードが「減災(被害を減らすこと)」です。

このように、災育では「なぜ



▲AED講習



▲薬局(調剤)体験



▲身近な物を使った応急処置

備えが必要なのか」「何が家族にできて、何について家族で考えなければならぬのか」を親子で学んでもらう機会を設けています。

会場が多岐のこと、参加された方々からは「高齢者や障害がある方の避難方法や避難所生活について」、「水害への対応」など、もつとこんなことが知りたいというコメントも多数いただきました。

来年の災育も8月第1日曜日に開催を予定しています。皆さんもこの機会に、防災について親子で学んでみませんか。



▲日本赤十字社公式キャラクター「ハートラちゃん」も参加

Information 新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年と一昨年の災育はオンラインでの開催となりました。このオンライン災育は、現在一年中アクセス可! 今年の災育同様、オンライン災育にも防災機関や行政、当院からブースを出しており、防災について学ぶことができます。「オンラインでも災育」をよろしくお願いいたします!



経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)が始まりました

経カテーテル的心臓弁治療関連学会協議会からの施設認定を受け、9月5日より大阪赤十字病院ハートチームによる重症大動脈弁狭窄症に対するTAVI治療を開始しました。

近年増加の著しい高齢者の心臓弁膜症に対する低侵襲で安全な治療を提供していきます。



▲当院ハートチームスタッフ

当院の紹介動画が完成しました!



すべては患者さんの笑顔のために
All for the patient's smile

ぜひご覧ください!

本誌「びり〜ぶ」について 皆さまのお声をお聞かせください

今後も皆さまの声を反映しながら、よりよい情報誌にしていきたいと考えています。

ぜひ、皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください。ご協力をお願いします。



アンケート方法

左記のQRコードを
携帯電話で読み取り、
回答後、
送信してください。

人事異動情報 (令和5年6月30日付～9月1日付)

採用 ●<7月1日付>【皮膚科部】山田 瑞穂(専攻医) 【小児科部】神 辰也(専攻医) ●<7月14日付>【耳鼻咽喉科・頭頸部外科】北田 有史(非常勤嘱託医師) ●<7月30日付>【脳神経外科部】笹ヶ迫 知紀(非常勤嘱託医師) ●<8月1日付>【心血管外科部】末永 悦郎(非常勤嘱託医師) / 中津 太郎(非常勤嘱託医師) / 北方 悠太(非常勤嘱託医師) / 金光 ひでお(非常勤嘱託医師) / 熊谷 基之(非常勤嘱託医師) 【皮膚科部】園田 真也(専攻医) 【小児外科部】門久 政司(医師) 【救急科部】鈴木 聡史(非常勤嘱託医師) ●<9月1日付>【脳神経内科部】月田 和人(非常勤嘱託医師)

退職 ●<6月30日付>【皮膚科部】中野 宏明(専攻医) 【小児科部】難波 かほり(専攻医) 【整形外科部】湯浅 友寿里(医師) 【救急科部】永井 淳(医師→非常勤嘱託医師) ●<7月31日付>【皮膚科部】武内 直生(専攻医) 【小児外科部】高松 由布子(医師) ●<8月31日付>【眼科部】市岡 悠(医師) 【救急科部】長友 美佳(専攻医→医師)

ご寄付 について 皆さまのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対応に取り組んでいる日本赤十字社に対し、多くの患者さんおよび企業・団体の皆さまから、ご寄付をいただいています。皆さまからの温かいご支援に感謝申し上げますとともに、当院を受診される皆さまのご期待にお応えできますよう、職員一同真摯に職務に励みます。

ご寄付の連絡先 大阪赤十字病院 総務管理課 TEL:06-6774-5111 (代表)

ご寄付の方法については、当院ホームページにも掲載しています。 <https://www.osaka-med.jrc.or.jp>

■税制上の優遇措置

日本赤十字社に対してなされた活動資金のご協力は、税制上の優遇措置が受けられます。

個人として資金を拠出された場合

●寄付金の全額(ただし、上限は寄付者の年間所得額の40%)から2千円を差し引いた額が寄付者の年間所得総額から控除されます。(所得税法第78条第2項第3号)

法人として資金を拠出された場合

●特定公益増進法人に対する寄付金の損金算入限度額を損金に算入することができます。(法人税法第37条第4項)

※寄付金損金算入限度額については、法人の資本や所得金額によって異なります。限度額については税務署や税理士の方にご確認ください。

■表彰制度

日本赤十字社では、ご寄付いただいた方・法人に対し下記のとおり感謝状などをお贈りしています。

1. 有功章・社長感謝状

- ①事業資金として、一時または累計額で20万円以上を納められたとき → 銀色有功章
- ②事業資金として、一時または累計額で50万円以上を納められたとき → 金色有功章
- ③金色有功章を受章された方がさらに事業資金として、一時または累計額で50万円以上を納められたとき → 社長感謝状

2. 支部長表彰状(感謝状)

個人、法人・団体より事業資金として一時または累計額で10万円以上を納められたとき

3. 特別社員章

(個人) 事業資金として、一時または数次に2万円以上納められたとき → 称号付与通知書特別社員章
(法人) 事業資金として、一時または数次に2万円以上納められたとき → 称号付与通知書

〈備考〉事業資金などを納められた個人、法人・団体には、納入金額に応じて上記の表彰のほか、次の手続きをいたします。

- 厚生労働大臣感謝状(手続きは同一年度内1回のみ)
個人の場合 → 一時または同一年度内の累計額で100万円以上、500万円未満
法人・団体の場合 → 一時または同一年度内の累計額で300万円以上、1,000万円未満
- 紺綬褒章(手続きはその都度)
個人の場合 → 一時または分納の申し出により累計額で500万円以上
法人・団体の場合 → 一時または分納の申し出により累計額で1,000万円以上

※国の表彰については、表彰を代行申請するものであり、ご受章をお約束するものではありません。また、代行申請にあたり別途ご提出いただく書類があります。

病院のご案内

■受付時間(月～金) (診療開始は午前8:45からです)
初診/月曜日～金曜日 8:30～11:30
再診/月曜日～金曜日 8:00～11:45

■休診日 土・日・祝・5月1日(本社創立記念日)・12月29日～1月3日

■診察券 診察券は全科共通で使用いたしますので、ご来院時には必ずお持ちください。

■ご面会 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部を制限しています。

■保険証等 保険証、医療証等は月に1度窓口で確認させていただきます。また、変更・更新の際は必ずご提出ください。



友だち登録してね



随時配信信中!



フォローしてね



当院は
敷地内全面
禁煙です
ご理解とご協力を
お願いします。

大阪赤十字病院

大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30 令和5年10月発行

■お問い合わせ TEL:06-6774-5111(代表)

大阪赤十字病院 <https://www.osaka-med.jrc.or.jp>
赤十字全般 <https://www.jrc.or.jp>

